『教職履修カルテ』の作成について

中・高(人文)-1
 就実大学・就実短期大学
 保育・教職課程委員会

教員免許取得希望者は、教職課程履修開始から『教職履修カルテ』を作成し、卒業まで使用する必要があります。

4年次後期の「教職実践演習」の授業を受けるまでの間に、各々必要な科目を履修し、カルテに記入するうえで、自分が教職課程の授業で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が自分に必要かを考える手がかりにしてください。

なお、この『教職履修カルテ』は、3年次より、指定された時期に提出していただきます。

保育・教職課程委員が確認後、『教職履修カルテ』を返却しますので、継続して記録してください。

『教職履修カルテ』未提出者は、次学期・次年度からの教職課程履修を認めません。

【提出する時期】

1回目:3年次4月のオリエンテーション期間中 ※2年次後期までの履修状況を記入しておくこと

2回目:3年次の9月末日 ※3年次前期までの履修状況を記入しておくこと

3回目:4年次の「教職実践演習」第1回目の授業時

【ファイル方法】

1. WebClass・学内イントラから、各々必要なカルテを印刷してください。
2. 指定のファイルを、学内売店で購入して使用してください。
3. ファイルには、指定の表紙(学内イントラから入手)を貼り付けてください。
4. 記入は、黒色のボールペンを用いてください。
5. 綴じる順番は次のとおりにします。
 - (1)『教職履修カルテ』の作成について
 - (2)学年ごとの到達目標と自己評価
 - (3)教科及び教職に関する科目(教育の基礎的理解に関する科目等)
 - (4)教科及び教職に関する科目(教科及び教科の指導法に関する科目)
 - (5)大学が独自に設定する科目
 - (6)66条の6に定める科目
6. 次の組み合わせで複数の免許状を希望する場合は、1つのファイルに綴じても問題ありません。
 - a. 中学校教諭と高等学校教諭

問い合わせ先

『教職履修カルテ』の記入方法について

人文科学部教職担当 初等教育学科教員

渡邊言美 kotomiwa@shujitsu.ac.jp

原奈津子 hnatsuko@shujitsu.ac.jp

※授業に関しては、各授業担当教員へ尋ねてください

学年ごとの到達目標と自己評価

1年次

1年次を振り返って、自己評価（1年次の終わりに記入）

2年次へ向けて、1年間の到達目標（1年次の終わりに記入）

2年次

2年次を振り返って、自己評価（2年次の終わりに記入）

3年次へ向けて、1年間の到達目標（2年次の終わりに記入）

指定のファイルに綴じて、4月オリエンテーション期間中に保育・教職支援課へ提出。

教員からのコメント

印

学年ごとの到達目標と自己評価

3年次

3年次前期を振り返って、自己評価（3年次前期の終わりに記入）

3年次後期から4年次前期へ向けて、1年間の到達目標（3年次前期の終わりに記入）

指定のファイルに綴じて、9月末日までに保育・教職支援課へ提出。

教員からのコメント	印
-----------	---

4年次

4年次前期を振り返って、自己評価（4年次前期の終わりに記入）

「教職実践演習」履修に向けて、到達目標

指定のファイルに綴じて、「教職実践演習（中・高）」の授業時に授業担当者へ提出。

「教職実践演習（中・高）」授業担当者からのコメント

評価とコメント	印
---------	---

就実大学 教職履修カルテ

学籍番号：	
氏名：	

免許状の種類：高等学校一種・中学校一種

教科：国語・英語・社会・地理歴史・公民（いずれかに○）

教科及び教職に関する科目（教育の基礎的理解に関する科目等）

免許法施行規則に定める 科目区分等			本学開設科目				評価	
科目	各科目に含める必要事項	単位数	授業科目 (担当者名)	単位数		履修状況(○印)		
				必修	選択	登録済		修得済
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	2				
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2				
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		学校制度論	2				
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学(教育・学校心理学)	2				
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別ニーズ教育総論	2				
	・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	中10 ・ 高8	道徳の指導法	中2				
	・総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法	1				
	・特別活動の指導法		特別活動の指導法	2				
	・教育の方法及び技術		教育方法論	2				
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用の理論と方法	1				
	・生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2				
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	2				
教育実践に関する科目	・教育実習	中5 ・ 高3	事前・事後指導	1				
			教育実習Ⅰ	2				
			教育実習Ⅱ	中2				
	・教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2				

就実大学 教職履修カルテ

学籍番号：	
氏名：	

免許状の種類：高等学校一種（公民）

教科及び教職に関する科目（教科及び教科の指導法に関する科目）

免許法施行規則に定める 科目区分	単 位 数	左記に対応する開設授業科目				評価	
		授業科目	単位数		履修状況(○印)		
			必修	選択	登録済		修得済
教科及び教科の指導法に関する専門的事項	1	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法学	2			
		政治学概論	2				
		国際政治1	2				
		国際政治2					
		日本国憲法	2				
	1	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学の世界と歴史	2			
			社会学概論A		2		
			社会学概論B		2		
			基礎経済学	2			
			経済学概論				
	国際経済論	2					
	1	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学の世界と歴史	2			
			現代の哲学と思想		2		
			倫理と価値観の諸相		2		
			心理学1		2		
			心理学2		2		
			死生観の歴史		2		
			日本人の思想		2		
			ヨーロッパ人の思想		2		
			アジア人の思想		2		
歴史人物の生と時代1				2			
歴史人物の生と時代2		2					
4	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	教科教育法（公民）Ⅰ	2				
		教科教育法（公民）Ⅱ	2				
合計	24						

「教科及び教科の指導法に関する科目」の最低修得単位数を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位数（最低修得単位数 高一種12単位）に振り替える。

就実大学 教職履修カルテ

学籍番号：	
氏 名：	

免許状の種類：高等学校一種・中学校一種

教科：国語・英語・社会・地理歴史・公民（いずれかに○）

大学が独自に設定する科目

認定を受けようとする 免許状の種類	単 位 数	左記に対応する開設授業科目				評価	
		授業科目	単位数		履修状況(○印)		
			必修	選択	登録済		修得済
高一種免	高12 ・ 中4	学校経営と学校図書館		2			
中一種免		学校図書館メディアの構成		2			
		学習指導と学校図書館		2			
		読書と豊かな人間性		2			
		情報メディアの活用		2			

「大学が独自に設定する科目」又は、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」について、高一種免の場合12単位、中一種の場合4単位以上修得すること。

就実大学 教職履修カルテ

学籍番号：	
氏名：	

免許状の種類：高等学校一種・中学校一種

教科：国語・英語・社会・地理歴史・公民（いずれかに○）

教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目					評価
		授業科目	単位数		履修状況(○印)		
			必修	選択	登録済	修得済	
日本国憲法	2	日本国憲法	2				
体育	2	身体運動と健康の科学	2				
		健康・スポーツと社会					
		スポーツ1	1				
		スポーツ2					
		スポーツ3					
		スポーツ4					
外国語コミュニケーション	2						
数理、データ活用及び人工知能に関する科目		数理・データサイエンス基礎	1				
		情報リテラシー	1				
情報機器の操作	2	情報と表現		2			
		情報と文化					
		情報処理演習1					
		情報処理演習2					

※上記科目とは別に、「人権の現代的課題」を必ず修得すること。

※外国語教育科目は、表現文化学科6単位、実践英語学科12単位、総合歴史学科8単位以上を修得すること。